

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービス あゆむ2		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 6日		令和8年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 6日		令和8年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士や看護師が常勤していることで、専門性を活かした支援や活動を日常的に行えている。	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関でのリハビリの様子を理学療法士が見学し、その内容を事業所での活動や支援に取り入れている。 医療的ケアの子どもが利用時には、看護師を中心に環境設定を行い安心して過ごせる空間づくりに努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導員の専門性の向上につながる研修を積極的に受講していく。
2	日々の活動プログラムを作成時、季節のイベントや子どもの意見を積極的に取り入れ、個別・集団活動へとつなげている。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの意見を取り入れながら、季節のイベント・お買い物・練習・運動・料理・製作など固定化しないプログラムを工夫して作成している。 子どもの好きなことや「推し」を活動に取り入れ、前向きに取り組めるよう支援をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な活動の機会を設け、子どもたちがいろいろな経験に挑戦できる環境づくりに努める。
3	毎日朝のミーティングで子どもたちの様子や支援内容を共有し、課題を話し合いながら業務の改善に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> 職員全員で前日の振り返りを行ったり、保護者からの困りごとや家庭での様子も共有し、支援内容の見直しや改善につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後もいろいろな意見交換を行い、課題を話し合いながらチームでよりよい支援を目指していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	長期休暇などに児童館を利用しているが、地域の子どもの交流機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 児童館利用に関する保護者への周知不足。 地域の子どもの交流が思うように進まない場面も見られるが、挨拶や貸し借りの場面で声を掛け合えるよう支援をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のイベントの情報を集めていく。 子どもたちの思いを受け止めながら、交流が苦手な子どももいることを踏まえ、交流できる場所を利用する機会を作っていく。
2	利用人数が多い日には活動スペースが限られ、十分な空間確保が難しい場合がある。	<ul style="list-style-type: none"> 利用人数や障害特性に応じて、子どもたちが分かりやすく過ごしやすい生活空間づくりに努めているが、十分な空間確保が難しい場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、より快適で安心して過ごせる生活空間の見直しを行っていく。
3			